

熊本地域医療センターだより

院長 杉田裕樹

令和4年(2022年) 5月発行

熊本地域医療センター電話番号(代表) 096-363-3311 FAX 096-362-0222

〒860-0811 熊本市中央区本荘5丁目16番10号

2022 **6** 通算205号
月号

わかりやすい 診療部紹介

～外科 近況とアピールポイント～

外科部長 ますだ 増田 としろう 稔郎

いつも当院への患者様のご紹介、ご指導まことにありがとうございます。今回は、外科の近況のご報告と、アピールポイントのご紹介をさせていただきます。

当院に常勤として14年間勤続された廣田昌彦先生が令和4年度から非常勤となり、月曜日のみ外来と手術に従事されることになりました。月曜日の八木泰志先生、金曜日の有田哲正先生も、ひきつづき非常勤として外来診療をしてくださっています。常勤外科医は、上村紀雄が転勤退職となり、杉田裕樹院長、岡部弘尚、黒木秀幸、黒田大介、増田に加え、今年度から新しく着任した富田真裕、小野明日香の7名で診療を頑張っています。

さて、私たちがアピールしたい当科の素晴らしいポイントのひとつは、メンバーの良好な人間関係です。昨今、職場のうつやパワーハラスメントなど、職場の人間関係は現代社会の大きな問題となっています。当科の人間関係は、大きなストレスなく、かつ、みんながお互いにオープンに相談し、切磋琢磨できる良好な関係です。私たちの良好な人間関係を示す楽しい一例をご紹介します。COVID-19感染が続き、なかなか集まっての宴会ができない中、私たちはzoomを用いた外科のオンライン飲み会を開催しました。飲み会の一体感を出すために、メンバーの大好きな飲み物や食べ物を一品ずつ持ち寄り、みんなで同じものを食べるという試みをしました。メンバーそれぞれのお勧めの逸品にみんなで一緒に舌鼓を打ち、リモートながら、さながら同じ空間で楽しい時間を過ごしているような感覚を共有しました。また、メンバーのアイデアで、芸能人格付けチェックのように高級食材とカマボコを食べ比べしました。自分は見事に映す価値なし、アルコールが入ったらカマボコを食べさせておけばいいことがわかりました。アルコールが入った中で廣田先生の学術セミナーもあり、質疑応答も白熱しました。みんなで昆虫(コオロギ)のスナック菓子(未来の食べ物)も食べました。大盛況、大盛況、みんな笑顔で、あっという間に3時間が過ぎ、メンバーの結束がさらに

ランクアップしました(写真)。週末にはオンラインでみんな笑顔、週明けの職場でもみんな笑顔で、手術のチームワークもさらにパワーアップしました。

さて、診療に関するアピールポイントです。当院では、さまざまな癌の患者様の治療が可能で、消化器領域なら、消化管でも肝胆膵でも、早期癌でも進行癌でも何でもウェルカムです。癌治療ガイドラインを基本にしながらも、患者様ひとりひとりに適したテーラーメイドの治療を提供し、患者様、ご家族、ご紹介くださった先生方にご満足いただいていると自負しています。コロナ禍ながら、2021年の当科の手術症例数は802例、さらなる症例数アップを目指しており、特に癌の手術においては、根治性と安全性を両立し、かつスピーディな手術を、高いレベルで実践しているという自信があります。

学術面も大変頑張っており、2021年の外科メンバーの英文論文発表は12編、筆頭演者としての全国学会の発表は12題でした。先生方からご紹介いただいた患者様おひとりおひとりを大切にして、こつこつとデータを蓄積し、研究、発表して、さらに臨床に還元するべく、皆で日々努力しています。

このように、私たちはチームの良好な人間関係を武器に、診療はもちろん、学術も頑張り、さらに高いレベルの医療を目指しています。今後とも、熊本地域医療センター外科に多くの患者様をご紹介いただき、ご指導くださいますよう、よろしくお願いいたします。



わかりやすい 部門紹介

～内視鏡検査部門～

内視鏡検査部門 主任 いけがみ しんいち
池上 慎一



内視鏡部は消化管、胆管、膵管、気管支に対する内視鏡診断および治療を行っている部門です。消化器内科医師、呼吸器内科医師、内視鏡検査技師、看護部、事務部で構成されおり、1982年（昭和57年）の開院時から約29万例の検査を行っています。

また24時間体制で緊急内視鏡を施行しており、消化器疾患では消化管出血や閉塞性黄疸、大腸閉塞、異物他、呼吸器疾患では癌性気道狭窄症・咯血他などに対し、夜間・休日含めて担当医と内視鏡技師とのオンコール体制にて365日安全に対応できる体制を整えています。

○先進医療への取り組み：開院当初から、種々の内視鏡治療を積極的に行っており、消化器内科では早期食道・胃・大腸癌に対するESD（内視鏡的粘膜下層剥離術）をはじめ、膵胆管系疾患に対するERCP（内視鏡的胆膵管造影法）や、EST（内視鏡的乳頭切開術）、胆膵領域における種々のドレナージ（内瘻・外瘻法含む）法まで、常に最新の治療や検査を提供し続けています。呼吸器内科では、癌性気道狭窄に対するマイクロ波凝固療法やメタリックステント留置術、難治性肺癆などに対するシリコン栓子充填術などのインターベンション、重症喘息の治療として気管支熱形成術（気管サーモプラスティ）などにも取り組んでいます。

○内視鏡室の概要：検査室は計5室で、高画質な画像を見ることができる高性能電子内視鏡システムを配置しています。さらに透視室が隣接しており、透視下内視鏡処置もスムーズに行うことが可能です。内視鏡検査時は鎮静剤を用いて行い、できるだけ苦痛を軽減できるように努めており、鎮静剤使用後は

リカバリーベットで十分に休憩を取っていただくようにしています。

○機器管理体制：内視鏡治療は近年著しく進歩し、適応も広がっており、綿密な機器・処置具の保守点検、管理が求められています。新たな体制として2015年からCE（臨床工学技士）の資格を有した内視鏡技師を加え、3名のCEが専属しております。医療機器のスペシャリストの参入により、機器管理体制の強化、内視鏡機器や周辺機器の安全確保が可能となり、より安全な管理体制のもとに内視鏡業務が遂行できるものと確信しております。

○感染管理体制：徹底した衛生管理を心掛けており、ガイドラインを準拠し、検査間は用手洗淨と内視鏡自動洗淨消毒機にて確実に洗淨、消毒を行っています。消毒液の実用下限濃度確認のために測定器を取り入れ、感染事故などが起きた際にも対応できるよう内視鏡履歴管理システムも導入しております。コロナ禍において、ハイリスク患者への検査時は、直接暴露や室内飛散を防止するためにウイルス感染防御システムを導入し対応しております。

これからも安心、安全な内視鏡検査を提供できるよう「チーム内視鏡」として意識を高め、研鑽を高め、医療安全に心掛けながらよりよい医療を提供していく所存です。



新任挨拶



外科
おの あすか
小野 明日香

5月より外科に赴任しました小野明日香と申します。平成30年に熊本大学を卒業後、初期臨床研修を経て、熊本大学消化器外科に入局しました。その後、熊本大学病院、国立病院機構熊本医療センターでの勤務を経て、こちらに参りました。熊本大学では主に消化器悪性腫瘍、熊本医療センターでは消化器疾患を中心に悪性腫瘍や緊急手術、外傷な

ど外科一般を担当しておりました。4月に熊本で外科学会総会が開催され、その関係で一足遅れて5月からの就任となりました。学会も無事終了し、また新たな気持ちで臨床に専念して参ります。

当院での勤務は今回初めてとなりますが、当院の基本理念である「かかってよかった。紹介してよかった。働いてよかった。そんな病院をめざします。」を実践していけるよう、日々自己研鑽を積みながら、患者さんひとりひとりに真摯に向き合っていきたいと存じます。

未熟な部分も多々ありますが、熊本の地域医療に貢献できるよう精進して参りますので、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

令和4年4月より、前任の日高先生に代わりまして乳腺・内分泌外科外来を担当させて頂くことになりました竹野雅子と申します。

3月までは熊本労災病院に勤務し、現在は熊本大学病院 乳腺・内分泌外科に所属しております。

乳腺外科 竹野 雅子

当科は乳腺疾患・甲状腺疾患を中心に診療を行います。患者様に最良の医療を行えるよう最善を尽くして参りたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

本年4月より皮膚科非常勤として勤務させて頂く金子彰良と申します。天草市出身で、真和高校、信州大学の卒業です。これまで熊本大学病院では、膠原病や悪性腫瘍、炎症性疾患、自己免疫性疾患などを、熊本医療センターでは皮膚科救急等を勉強して参りました。また、大学病院では集中治療部にも半年間在籍しておりました。この度は、大学院での研究期間を経て今回の赴任となりました。

当院での勤務は初めてとなります。当院は多くの診療科を備えており、治療方針に悩む当科の患

皮膚科 金子 彰良

者様を、生生方にご相談させて頂く機会が多々あるかと存じます。また、各科の先生方、開業医の先生方から様々なご紹介を頂いた際には、私自身日々勉強させて頂きながら、皆様のお役に立てればと思います。

大学病院皮膚科や関連病院とも連携を取りつつ、地域の皆様によりより医療を提供できるよう精進して参ります。不慣れな点が多くスタッフの皆様にご迷惑をおかけするかと思いますが、何卒よろしくお願い致します。

4月より腎臓内科外来を担当することとなりました、岡村景子と申します。熊本大学を卒業し、熊本中央病院で2年間の初期臨床研修の後、熊本大学腎臓内科に入局いたしました。

入局後は熊本医療センターや熊本総合病院、済生会熊本病院等で腎疾患の診療、血液透析や腹膜透析などの血液浄化療法などを経験して参りましたが、現在は子育てとの両立のため、非常勤講師として、熊本大学病院等での外来診療に従事しております。当院では、これまでの経験を活かし、患者様やご家族に信頼される丁寧な診療を行って

腎臓内科 岡村 景子

いきたいと考えております。入院治療が必要な場合には熊本大学病院をはじめとした各病院の腎臓内科と連携を図り、患者様に必要な医療を提供できますよう努めて参ります。

まだ短期間ではありますが、すでに各科の先生方、スタッフの方々には温かくサポートしていただき、ありがたく感じております。地元でもある熊本の医療に少しでも貢献できますよう尽力したいと思っておりますので、これからもご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

「友達の輪～Relay トーク 第17弾」

まえはらクリニック まえはら 前原 ゆういち 優一



医師会会員の皆様、はじめまして。私は、2021年10月中央区に開院いたしました、腎臓内科・内科・歯科 まえはらクリニックの前原と

申します。この度、開院前の内覧会にお越し頂きました、たかき消化器内科の高木功先生からのご紹介を頂き、原稿を書いています。私は、沖縄県出身で、地元の琉球大学医学部を卒業した後、琉球大学医学部第三内科（現 循環器・腎臓・神経内科学講座）に入局し、国立病院機構九州医療センター、沖縄の県立那覇病院（現 南部医療センター・こども医療センター）で、主に全身血管病（脳血管障害、虚血性心疾患、心不全、腎不全など）を中心に内科救急疾患全般について研修しました。脳血管障害や心疾患の後遺症のため生活状況が一変してしまった患者さんを診るたびに、予防の大切さを痛感しました。その後、一端臨床を離れ、九州大学大学院で生化学的手法を用いた基礎研究を通して論理的思考を身に着けました。その後、「慢性腎臓病（CKD）が末期腎不全だけでなく、心血管病の独立したリスク因子であり、これらの予防のためには腎臓の健康状態を

維持する必要がある」という視点のもと、腎機能の維持を目指す腎臓内科を専門とすることとしました。2013年春に熊本市に移住し、如水会 嶋田病院 腎臓内科医、令和会 熊本整形外科病院で腎臓内科部長として勤務しました。両院において、熊本市の透析導入患者数減少を目指したCKD 対策事業に携わり、尽力して参りました。

ところで、私のクリニックは、透析を行わず、腎臓内科に歯科を併設するユニークなクリニックです。歯科を併設したのは、歯周病が動脈硬化進行のリスクであり、いわゆる「メタボリックドミノ」の上流に位置すると考えられていることから、歯周病の予防、治療は私が目指す診療に不可欠であるという考えに基づいています。医科、歯科ともに、生活習慣病治療を通して社会に貢献できるよう、日々の診療に励んでいます。

地域医療センターは、これまで内科、外科問わず、紹介患者を快くお受け下さり、大変心強く思っております。開院後は、地域貢献のため、月に1回程度出向させてもらっております。今後とも宜しくお願ひいたします。

今回は、唐木クリニックの唐木将行先生にお願いしました。唐木先生には、しばしば、腎疾患とも関連する慢性上咽頭炎の評価を行って頂き、日ごろからお世話になっております。それでは、唐木先生、宜しくお願ひします。

熊本地域医療センター勉強会のお知らせ

日時／2022年6月27日(月) 19:00～20:00

形式／ハイブリット方式 オンライン参加 or 会場参加
オンライン参加：ZOOM 会場参加：2階多目的ルーム

申し込み方法／kumamotochiiki@gmail.com (※1) までメールにて「所属医療機関名」および「氏名」を記載し、お送りください。(後日、詳細な参加方法についてご案内いたします。)

(※1) 申し込みアドレス



※会場参加を希望される方は、事前にお申し込みください。

人数制限によりご案内できない場合がございます。

※予定が変更になる場合がありますのでご注意ください。

①症例報告

『通常の PEG 造設不能例に対する
腹腔鏡補助下 PEG』

外科 増田 稔郎 医師

②特別講義

『带状疱疹 疫学、臨床、予防まで』
CC26：発疹

皮膚科 守屋 千賀子 医師

熊本地域医療センター

■医師へ直接紹介される方はこちら

☎096-363-3311 (代表)

■何科に紹介するか迷っている場合はこちら

※ベテラン看護師が対応いたします！

(平日9:00～17:00) ☎096-372-0600

■画像診断・内視鏡などの検査予約はこちら(連携室)

☎096-366-1323

編集後記

Y 友達の輪～Relay トーク第17弾は、腎臓内科に歯科を併設されているユニークな「まえはらクリニック」の前原優一先生です。患者さんのご紹介はもとより、出勤協力医としてもご協力いただきありがとうございます。

K 昨年までは、運動会・体育祭が無観客や zoom 配信でしたが、今年は、午前中の保護者観客人数制限ではありますが、開催されているようです。長い冬眠から少しずつ目覚めるように、いろんな行事の開催復活となりますようお願いしています！

H 前回より「わかりやすい診療部 / 部門紹介」をシリーズ化しています。職員の私でも知らなかった事がいくつもありません。院内外問わず、読みやすい内容となっておりますので、皆さん是非ご一読ください。